在 舞能 音子

忠昂胡度壳蝶

福岡 聡子

令和7年4月27日(日) 14:00開演(13:30開場) ハピリンホール能舞台 福井市にぎわい交流施設 (JR福井駅西ロ「ハピリン」3階 福井市中央1丁目2-1 TEL 0776-20-2901)

前受入場券 4,000円・当日入場券 5,000円(前受入場券をご希望の方は、事前の申込みが必要です。) 申込みは事務局 (TEL 0776-24-7851) に問合せいただくかホームページをご覧ください。

胡

蝶

舞囃子

小 鼓 鼓 (住駒 俊介 飯嶋六之佐 太鼓 笛 江麦 野谷

晚泉夫

地謡 佐 佐 島野 村

弘 由 明 宜 於 宏

大坪喜美雄

狂 言

シテ 能村 晶 人

昆布壳

アド 炭 哲男

中尾

後見

史生

姿の忠度が現れ、自詠の歌が「千載集」に入

その夜、花影に仮寝する僧の夢の中に甲冑

みます。そして実は自分こそがその忠度であ

に埋められていることも語り、僧に弔いを頼

ることをほのめかし、姿を消します。

下陰を宿とせば・・」と詠んだ平忠度がここ

に勝る宿はあるまいと言い、「行き暮れて木の

僧が一夜の宿を乞うと、老人はこの花の陰

忠

度

ワキ

北島

公之

小 太鼓

(住駒 俊介)

笛

江野

泉

後見

島村 大坪喜美雄

明宏

地謡

重清

佐 渡 佐 野 邊 野

弘茂由克宜人於德

中尾

史生

渡貫

多聞

川島 英治

シテ

福岡

聡子

能

休

憩

+

分

昆布売 (こぶうり)

根元へ消えて行きます。

えてなぶり、 声を平家節、 昆布召させ」と昆布を売らせる。昆布の売り ておどし、腰の小刀を取り上げ、 召し(献上)の昆布を売り歩く男に声をかけ、 うと往来で待つ。通りかかった若狭の小浜の がいないので、適当な者がいたら供をさせよ いやがるのを無理に太刀持ちにさせる。怒っ た昆布売は何某を油断させてから太刀を抜い 武士の何某は外出するのに今日に限って供 太刀と小刀を持ち逃げする。 踊り節といろいろに変 「昆布召させ

※場内での撮影・録音・録画は固くお断り致します。

申込、公演案内

(能・狂言事典)

宝生流福井能楽会 事務局 天野和彦 福井市三郎丸2-908 TEL/FAX 0776-24-7851

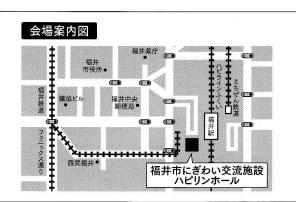
【宝生流福井能楽会のホームページ】 http://www.mitene.or.jp/~y-sato

福井能楽会

検索.



HP



能

忠 度 (ただのり)

演

H

解

説

藤原俊成の没後、

その家人の一人が出家

西国行脚に出掛けます。須磨の浦である一本

の桜の木に手向けをする老人に出会います。

詳しく再現して見せ、回向を頼むと桜の木の こと、一の谷で岡部六弥太に討たれた有様を そして出陣の折、俊成に自分の歌集を託した え作者名を明らかにしてほしいと訴えます。 遺憾に思っており、これを俊成の子定家に伝 選したが、朝敵のため読み人知らずと記され (宝生の能より